

ピムコ・グローバル債券ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第59期 (決算日2017年2月17日) 第60期 (決算日2017年3月17日) 第61期 (決算日2017年4月17日)
第62期 (決算日2017年5月17日) 第63期 (決算日2017年6月19日) 第64期 (決算日2017年7月18日)

作成対象期間 (2017年1月18日～2017年7月18日)

| 第64期末 (2017年7月18日) | |
|--------------------|--------|
| 基準価額 | 9,010円 |
| 純資産総額 | 27百万円 |
| 第59期 ～ 第64期 | |
| 騰落率 | 3.0% |
| 分配金 (税込み) 合計 | 240円 |

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ピムコ・グローバル債券ファンド (為替ヘッジあり)」は、2017年7月18日に第64期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を除く先進国や新興国の債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

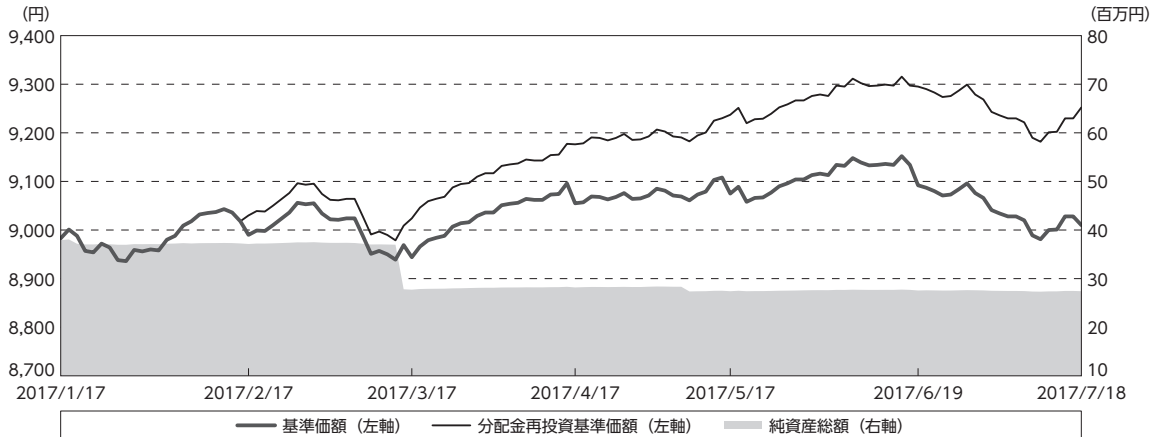
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年1月18日～2017年7月18日)



第59期首：8,983円

第64期末：9,010円 (既払分配金 (税込み)：240円)

騰落率：3.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2017年1月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、先進国の高格付債券および米ドル建ての新興国のソブリン債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行なっております。

<値上がり要因>

- ・金融機関の社債や一部証券化商品の価格が上昇したこと。
- ・ロシアとの関係を巡り米国トランプ政権の政策運営に停滞が見られるなか、安全資産として国債が選好され、米国で国債利回りが低下 (債券価格は上昇) したこと。
- ・主要先進国と比べて相対的に高い利回りを提供する新興国債券に対する需要が拡大したこと。
- ・米国トランプ大統領の掲げる保護主義政策に対する過度な懸念が後退するなか、メキシコを中心に経済見通しが改善したこと。

＜値下がり要因＞

- ・ ドラギ ECB（欧州中央銀行）総裁が金融緩和策を微修正する可能性を示唆したことを受けて、ECBが資産買入れの縮小に動くとの見方が広がるなか、欧州で国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・ 供給過剰懸念を背景に原油価格が下落したことが新興国の景気回復の重しとなったこと。
- ・ 為替ヘッジに伴うコストが発生したこと。

1 万口当たりの費用明細

（2017年1月18日～2017年7月18日）

| 項 目 | 第59期～第64期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-----------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 60 | 0.668 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (40) | (0.444) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (19) | (0.207) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （受託会社） | (1) | (0.016) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 4 | 0.049 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （監査費用） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （印刷費用） | (4) | (0.047) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 64 | 0.717 | |
| 作成期間の平均基準価額は、9,045円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

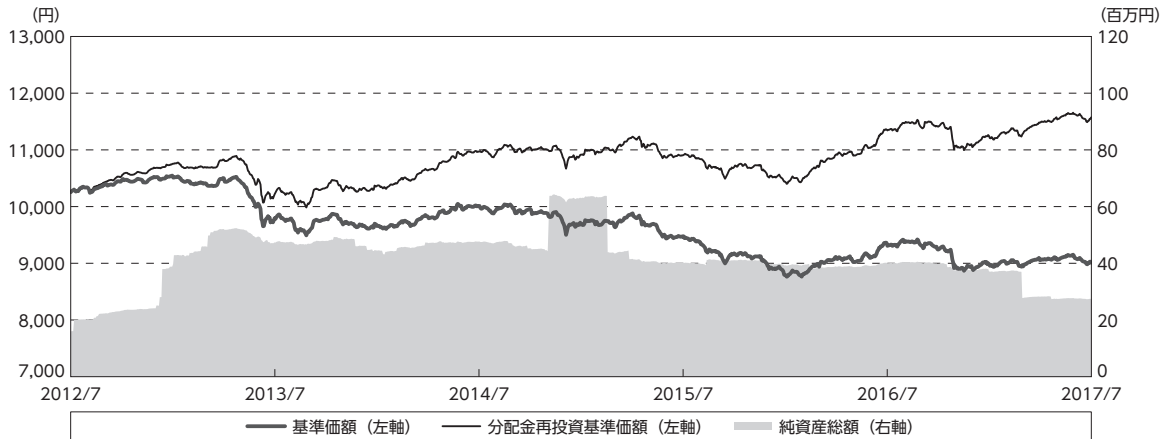
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年7月17日～2017年7月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年7月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2012年7月17日 決算日 | 2013年7月17日 決算日 | 2014年7月17日 決算日 | 2015年7月17日 決算日 | 2016年7月19日 決算日 | 2017年7月18日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,253 | 9,783 | 9,978 | 9,445 | 9,307 | 9,010 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 480 | 480 | 480 | 480 | 480 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 0.1 | 7.1 | △ 0.6 | 3.9 | 2.1 |
| 純資産総額 (百万円) | 15 | 47 | 47 | 40 | 39 | 27 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2017年1月18日～2017年7月18日）

（高格付債券市況）

期間の前半、先進国債券市場は、フランス大統領選挙の動向や米国トランプ政権とロシアとの不透明な関係を巡り政治リスクが高まったことを受け、安全資産として国債が選好され、上昇しました。期間の後半、米国が金融正常化へ向かうなか、欧州や英国にて中央銀行当局者より現状の金融緩和策を修正する可能性が示唆されたことから、先進国債券市場は全般的に軟調に推移しました。期間を通じて見ると、先進国債券市場はほぼ横ばいに推移しました。米国では、FOMC（米国連邦公開市場委員会）にて政策金利の引き上げが決定されたことに加え、2017年内にバランスシートの縮小を開始する方針が表明されるなど金融正常化に向けて前進が見られたものの、軟調なCPI（消費者物価指数）など冴えない経済指標を背景に、債券価格は上昇しました。欧州では、ドラギECB総裁が現行の金融緩和策を微修正する可能性を示唆したことを受けて、早ければ2017年秋にも金融緩和策の縮小を発表するのではないかと観測が高まり、債券価格は下落しました。

（エマージング債券市況）

エマージング債券市場（米ドル建て）は、期間を通じて見ると上昇しました。

当期のエマージング債券市場は、メキシコとの国境の壁の建設費用を予算に盛り込むことを先送りし、また中国の為替操作国認定を見送るなど米国トランプ大統領が当初掲げていた強硬な米国第一主義が軟化したことから、新興国経済に対する過度な懸念が後退し、上昇しました。更に、新興諸国における景況感の持続的な改善に加えて、主要先進国と比べて相対的に高い利回りを提供する新興国債券に対する需要が拡大したこともプラス材料となりました。また、米国では、政策金利の引き上げが決定されたことに加え、2017年内にバランスシートの縮小を開始する方針が表明されるなど金融正常化に向けて前進が見られたものの、軟調なCPIを背景に米国国債利回りの上昇が抑えられ、新興国債券への影響は限定的でした。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年1月18日～2017年7月18日）

（当ファンド）

当ファンドは、「PIMCO グローバル債券ストラテジーファンド」(円ヘッジ) 受益証券および「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ)」受益証券を高位に組み入れました。なお、各受益証券の組入比率は概ね50%ずつとしました。

（PIMCO グローバル債券ストラテジーファンド）（円ヘッジ）

欧米にて政治リスクが市場で意識される局面が見られ、ボラティリティ（変動性）の高まりが予想される環境下、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を重視した慎重なポートフォリオの運用を継続しました。金利戦略では、経済成長期待が高まる米国や、低金利環境が続くなか景気回復が期待されるユーロ圏の長期金利リスクを少なめとしました。また、英国は、割高割安分析に基づき、やや金利リスクを少なめとしています。セクター戦略では慎重なリスク管理に努め、金融機関の社債や証券化商品などで選別的な保有を行ないました。

（PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ））

エマージング諸国のなかでも、国によって経済・政治状況や外部環境は大きく異なることから、各国の財政状況や対外収支状況などファンダメンタルズ分析を重視した慎重なポートフォリオ運用を行ないました。具体的には、潤沢な外貨準備高を保有し、経済危機に直面した過去に比べて良好なファンダメンタルズを有するとみられるブラジルやロシアの投資配分は高めに維持しました。その一方で、地政学的リスクや脆弱なファンダメンタルズを有するトルコ、対外債務に対する依存度の高いハンガリーなどの国々に対する投資配分は抑えめとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年1月18日～2017年7月18日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2017年1月18日～2017年7月18日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目 | 第59期 | 第60期 | 第61期 | 第62期 | 第63期 | 第64期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2017年1月18日 ～2017年2月17日 | 2017年2月18日 ～2017年3月17日 | 2017年3月18日 ～2017年4月17日 | 2017年4月18日 ～2017年5月17日 | 2017年5月18日 ～2017年6月19日 | 2017年6月20日 ～2017年7月18日 |
| 当期分配金 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| （対基準価額比率） | 0.443% | 0.445% | 0.440% | 0.439% | 0.438% | 0.442% |
| 当期の収益 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 当期の収益以外 | — | — | — | — | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,223 | 1,240 | 1,262 | 1,279 | 1,294 | 1,312 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として「PIMCO グローバル債券ストラテジーファンド」（円ヘッジ）受益証券および「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ）」受益証券を高位に組み入れ、各受益証券の組入比率は概ね50%ずつとする方針です。

（PIMCO グローバル債券ストラテジーファンド）（円ヘッジ）

米国の政治動向、先進国の前例無き金融政策からの脱却および拡張的財政出動への転換、中国の内需主導型経済への移行など、好悪両極端な状況に振れるリスクは残るものの、引き続き主要国経済は緩やかな回復を続けることを基本シナリオとしています。米国では、良好な労働市場を背景に個人消費が景気回復をけん引するとみえています。一方、米国トランプ大統領が掲げるインフラ投資の拡大や減税策は成長率を押し上げる効果があるものの、同政権の政策運営に対する不安も残るなか、最終的に財政政策の規模が縮小されるリスクには留意が必要です。欧州においては、依然としてインフレ見通しが低水準であることから、当面は中央銀行による緩和的な政策が経済成長を下支えするとみていますが、一部当局者より金融緩和の正常化に向けた発言が見られるなど将来の政策転換の可能性には注意を要します。英国では、EU（欧州連合）離脱への不確実性は根強く残るものの、財政支出と輸出の拡大を受けて緩やかな経済回復が続くとみえています。

ファンドの運用戦略に関しては、金利リスクは、緩やかながらも米国での金利引き上げに鑑み若干抑制気味で調整しつつ、状況に応じて柔軟にコントロールします。一方、社債や証券化商品については、リスクを考慮しても魅力的と考えられる利回りを提供する国、セクター、銘柄に選択的に投資します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ））

新興国のファンダメンタルズは総じて改善してきており、当面は緩やかな景気拡大局面が持続するとみえています。緩和的な金融政策により様々な資産価格が押し上げられている環境下、新興国資産は相対的に割安から適正水準にあり、投資妙味があると考えられます。ただし、短期的には米国の政治や金融政策の動向、先進国における非伝統的な金融緩和策からの脱却、コモディティ価格の動向などの外部環境の変化による影響については、引き続き注視する必要があるとみえています。新興国への投資に際しては、米国の金融政策や保護主義的な通商政策などがもたらす影響が国ごとに異なるため、これまで以上に国の選別が重要になると考えています。従って、各国の財政状況や対外収支などに基づき、投資対象国を慎重に精査していきます。

ブラジルについては大統領の汚職疑惑を巡る捜査の進展には注意を要するものの、国内経済は回復の途上にあり、また豊富な外貨準備残高に裏打ちされた支払い能力を維持していることから、積極姿勢とします。2016年末に国際市場へ復帰を遂げたアルゼンチンについては、2017年10月に控えている国政選挙には留意が必要なものの、中南米諸国の中では相対的に流動性が高くかつ割安感があること、財政改革と金融政策が共に順調に進行しており、ファンダメンタルズの改善が期待できることなどから、積極姿勢とします。インドネシアについては、政府によるインフラ投資と内需拡大を背景に持続的な経済成長が期待できること、中央銀行が国内経済に配慮しつつも物価上昇率を低位に抑えた状態で金融政策を維持できていることなどから、積極姿勢とします。一方、トルコやハンガリーなどは、地政学的リスクや脆弱なファンダメンタルズ、高い対外資金依存度などを背景に、消極姿勢とします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

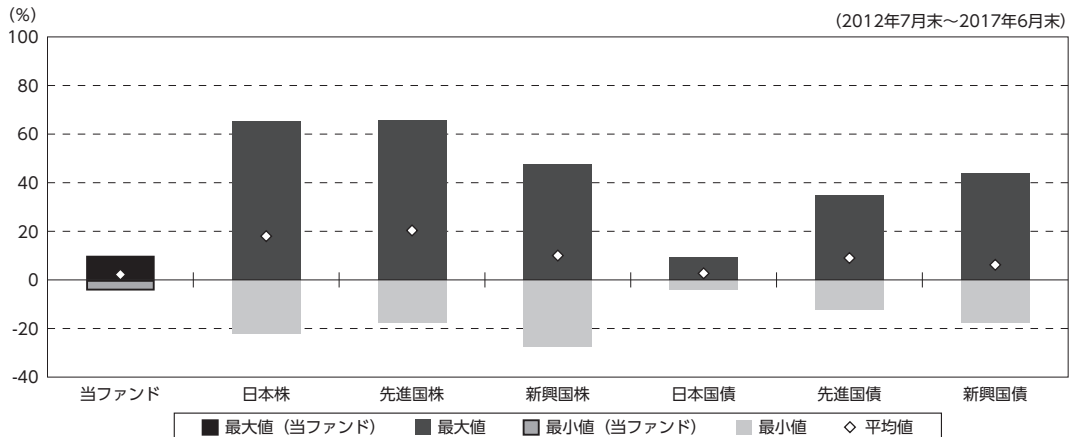
2017年1月18日から2017年7月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2012年4月6日から2022年7月15日までです。 |
| 運用方針 | 主として、日本を除く先進国や新興国の債券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 「PIMCO グローバル債券ストラテジーファンド」(円ヘッジ) 受益証券 「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ)」 受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 当ファンドは、主として、日本を除く先進国や新興国の債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。先進国の高格付債券および米ドル建ての新興国のソブリン債を主な投資対象とします。 |
| 分配方針 | 第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 10.0 | 65.0 | 65.7 | 47.4 | 9.3 | 34.9 | 43.7 |
| 最小値 | △4.4 | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |
| 平均値 | 2.2 | 18.0 | 20.3 | 10.0 | 2.7 | 9.0 | 6.2 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年7月から2017年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2013年4月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2017年7月18日現在）

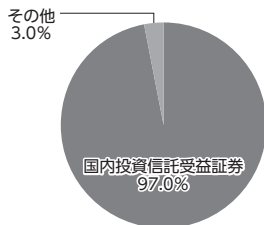
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第64期末 |
|-----------------------------------|-------|
| | % |
| PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ） | 50.0 |
| PIMCO グローバル債券ストラテジーファンドJ（円ヘッジ） | 47.0 |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

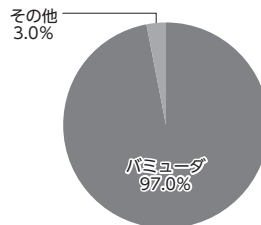
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

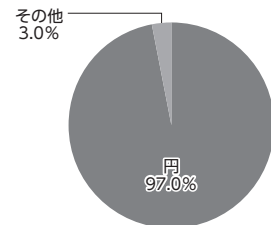
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

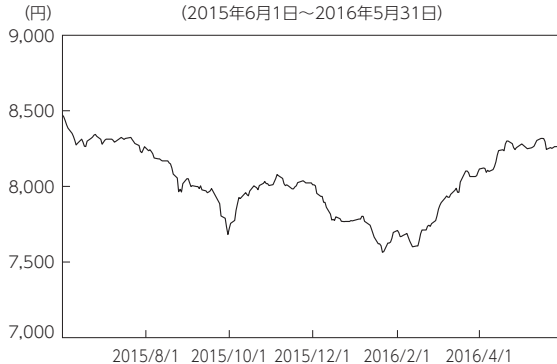
| 項目 | 第59期末 | 第60期末 | 第61期末 | 第62期末 | 第63期末 | 第64期末 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 2017年2月17日 | 2017年3月17日 | 2017年4月17日 | 2017年5月17日 | 2017年6月19日 | 2017年7月18日 |
| 純資産総額 | 37,125,701円 | 27,725,711円 | 28,186,118円 | 27,405,937円 | 27,558,745円 | 27,411,513円 |
| 受益権総口数 | 41,294,719口 | 31,000,742口 | 31,127,022口 | 30,199,963口 | 30,310,709口 | 30,421,977口 |
| 1万口当たり基準価額 | 8,990円 | 8,944円 | 9,055円 | 9,075円 | 9,092円 | 9,010円 |

（注）当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は707,740円、同解約元本額は12,504,490円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月1日～2016年5月31日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2016年5月31日現在)

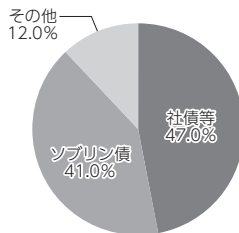
| | 銘柄名 | 業種 / 種別等 | 通貨 | 国 (地域) | 比率 |
|----|--|----------|--------|---------|-----|
| | | | | | % |
| 1 | Gazprom OAO Via Gaz Capital S.A. 9.250% due 04/23/2019 | 社債等 | アメリカドル | ルクセンブルク | 1.8 |
| 2 | Petrobras Global Finance BV 4.875% due 03/17/2020 | 社債等 | アメリカドル | ブラジル | 1.6 |
| 3 | Indonesia Government International Bond 6.750% due 01/15/2044 | ソブリン債 | アメリカドル | インドネシア | 1.5 |
| 4 | Petroleos Mexicanos 6.500% due 06/02/2041 | 社債等 | アメリカドル | メキシコ | 1.4 |
| 5 | BBVA Bancomer S.A. 6.500% due 03/10/2021 | 社債等 | アメリカドル | メキシコ | 1.4 |
| 6 | Brazil Minas SPE via State of Minas Gerais 5.333% due 02/15/2028 | ソブリン債 | アメリカドル | ブラジル | 1.4 |
| 7 | Petrobras Global Finance BV 5.625% due 05/20/2043 | 社債等 | アメリカドル | ブラジル | 1.4 |
| 8 | Kazakhstan Temir Zholy Finance BV 6.375% due 10/06/2020 | 社債等 | アメリカドル | オランダ | 1.3 |
| 9 | Ecopetrol S.A. 5.875% due 05/28/2045 | 社債等 | アメリカドル | コロンビア | 1.2 |
| 10 | Vnesheconombank Via VEB Finance PLC 6.025% due 07/05/2022 | 社債等 | アメリカドル | アイルランド | 1.2 |
| | 組入銘柄数 | | 242銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

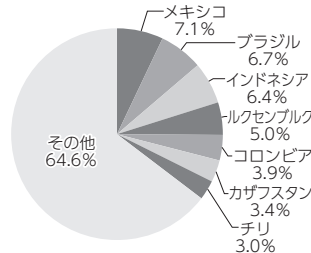
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

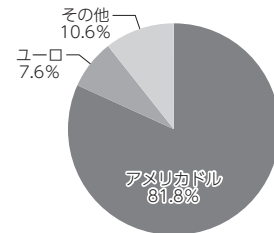
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



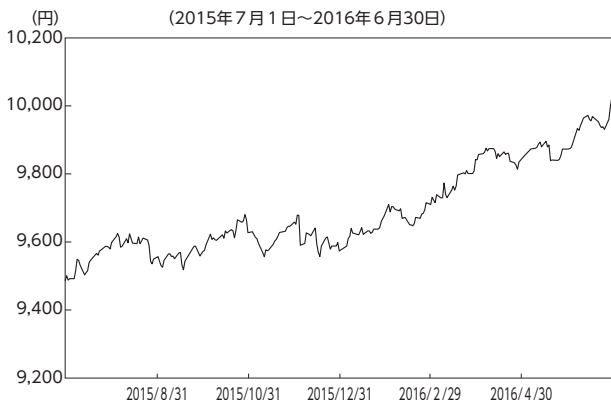
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (M) の情報です。

PIMCO グローバル債券ストラテジーファンドJ (円ヘッジ)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年7月1日～2016年6月30日)
 当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2016年6月30日現在)

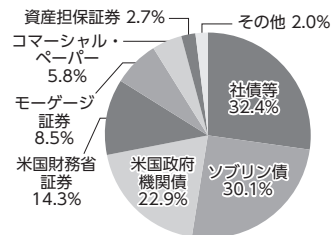
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 % |
|-------|---|---------|---------|-------|---------|
| 1 | Fannie Mae, TBA (d) 3.000% due 08/01/2046 | 米国政府機関債 | アメリカドル | 米国 | 7.4 |
| 2 | 日本国債 (0.170%) due 09/12/2016 | ソブリン債 | 日本円 | 日本 | 5.7 |
| 3 | Fannie Mae, TBA (d) 3.500% due 08/01/2046 | 米国政府機関債 | アメリカドル | 米国 | 5.1 |
| 4 | 日本国債 (0.250%) due 07/11/2016 | ソブリン債 | 日本円 | 日本 | 3.4 |
| 5 | Fannie Mae, TBA (d) 4.000% due 08/01/2046 | 米国政府機関債 | アメリカドル | 米国 | 3.1 |
| 6 | U.S. Treasury Notes 1.500% due 01/31/2022 | 米国財務省証券 | アメリカドル | 米国 | 3.1 |
| 7 | 日本国債 (0.250%) due 08/08/2016 | ソブリン債 | 日本円 | 日本 | 2.3 |
| 8 | U.S. Treasury Bonds 4.375% due 05/15/2040 | 米国財務省証券 | アメリカドル | 米国 | 2.1 |
| 9 | United Kingdom Gilt 4.250% due 12/07/2040 | ソブリン債 | イギリスポンド | 英国 | 2.1 |
| 10 | Province of Quebec 4.250% due 12/01/2021 | ソブリン債 | カナダドル | カナダ | 1.9 |
| 組入銘柄数 | | | 221銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

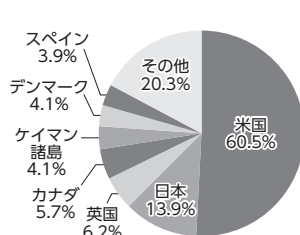
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

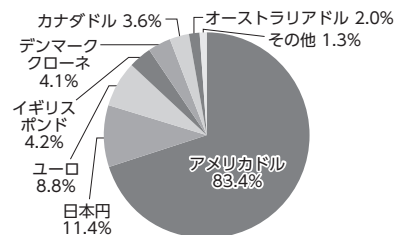
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。